

馬産地ライター村本浩平の 2024 スタリオンシリーズ競走種牡馬名鑑



Vol. 3 | 8.6 [火] ▶ 9.26 [木] 開催分

8.8
[木]

アドマイヤマーズ賞
【サッポロクラシックカップ [H3]】

初年度
産駒
デビュー

アドマイヤマーズは2016年産まれ、安平町・ノーザンファームの生産馬。父ダイワメジャー、母ヴィアメディチ(母の父Medicean)。現役時はGI香港マイル、GINHKマイルC、GI朝日杯FSなど、13戦6勝の成績を残している。2歳時は朝日杯FSを含む4戦4勝の成績で、2018年のJRA賞最優秀2歳牡馬に選出される。3歳時はNHKマイルCを勝利すると、暮れには香港マイルへと出走し、史上初となる3歳馬の優勝となった。2021年シーズンから安平町・社台スタリオンステーションで繋養。初年度産駒は今年デビューしており、続々と勝ち馬が誕生している。

8.21
[水]

アメリカンペイトリオット賞
【フルールカップ [H3]】

アメリカンペイトリオットは2013年産まれの米国産馬。父War Front、母Life Well Lived(母の父Tiznow)。現役時はGIメイカーズ46マイルSなど、14戦5勝の成績を残している。3歳時にデビューを迎えると、GⅢセントSではコースレコードを樹立して重賞初制覇。続くGIセクレタリアトSでも3着に入着する。4歳時のメイカーズ46マイルSでは後方一気の末脚を使い、GIウイナーの仲間入りを果たす。2018年シーズンから日高町のダーレー・ジャパンスタリオンコンプレックスで繋養。初年度産駒からビーアストニッドがGⅡスプリングSを優勝、地方でも重賞馬が誕生と、産駒はダート適性の高さも示している。

8.22
[木]

ジャスタウェイ賞
【ブリーダーズゴールドジュニアカップ [H2]】

ジャスタウェイは2009年産まれ、浦河町・社台コーポレーション白老ファームの生産馬。父ハーツクライ、母シビル(母の父Wild Again)。現役時はGI天皇賞・秋、GIドバイデュティフリーなど22戦6勝の成績を残している。4歳秋の天皇賞・秋でGI初制覇。5歳時にはドバイデュティフリーをコースレコードで優勝し、ワールドベストレースホースランキングでは、日本調教馬として初めて世界一の評価を受けた。2015年シーズンから日高町・ブリーダーズ・スタリオン・ステーションで繋養。ダノンザキッド(GIホープフルS)、テオレマ(JpnIIBCレディスクラシック)など、産駒は芝、ダートを問わない活躍を見せている。

9.12
[木]

ファインニードル賞
【ウポポイオータムスプリント [H2]】

ファインニードルは2013年産まれ、日高町・ダーレー・ジャパン・ファームの生産馬。父アドマイヤムーン、母ニードルクラフト(母の父Mark of Esteem)。現役時はGI高松宮記念、GIスプリンターズSなど28戦10勝の成績を残している。4歳秋のGⅡセントウルSで重賞初制覇をあげると、5歳時には芝スプリントの舞台で6戦4勝、うちGI2勝と圧巻のパフォーマンスで、その年のJRA賞最優秀短距離馬にも選出される。2019年から日高町・ダーレー・ジャパン・スタリオン・コンプレックスで繋養。2023年にはカルチャーデイがGⅢファンタジーSを優勝するなど、産駒は父と同じく芝スプリントでの活躍が目立っている。

9.19
[木]

ダノンプレミアム賞
【フローラルカップ [H3]】

ダノンプレミアムは2015年産まれ、新ひだか町・ケイアイファームの生産馬。父ディーピンパクト、母インディアナギャル(母の父Intikhab)。現役時はGI朝日杯FSなど14戦6勝。2歳時のメイクデビュー阪神を勝利して臨んだ、GⅢサウジアラビアRCをコースレコードで優勝。続く朝日杯FSでもレースレコードを更新する。3歳時にはGⅡ弥生賞、4歳時にもGⅡ金鯱賞とGⅡマイルーズCに勝利しただけでなく、GIでも好走を続けていった。2022年から新ひだか町・アロースタッドで繋養。その年には145頭の繁殖牝馬を集める人気ぶりで、昨年も99頭に配合を行っている。初年度産駒は2025年にデビューを迎える。

9.26
[木]

デクラレーションオブウォー賞
【瑞穂賞 [H2]】

デクラレーションオブウォーは2009年産まれの米国産馬。父War Front、母Tempo West(母の父Rahy)。現役時はGI英インターナショナルS、GIクイーンアンSなど13戦7勝。2歳時から頭角を現すと、3歳秋のGⅢダイヤモンドSで重賞初制覇をあげる。4歳時は世界各国を飛び回りながら、GI2勝を含めて3勝、2着1回、3着2回と安定した活躍を続けていった。2014年からアイルランドでスタッド入りし、日本では2019年から新ひだか町・日本軽種馬協会静内種馬場で繋養。世界各国でGI馬を送り出しただけでなく、日本でもタマモブラックタイ(GⅢファルコンS)、セットアップ(GⅢ札幌2歳S)が重賞を勝利している。

今シーズンは特別競走2レースも
「スタリオンシリーズ競走」として開催!

- 門別15回 ・ミスチヴィアスアレックス賞
- 門別15回 ・アニマルキングダム賞

「スタリオンシリーズ競走」は、一般社団法人JBC協会(ジャパンブリーダーズカップ協会)が産地の支援を得て、優勝馬の馬主や生産牧場に種牡馬の翌年種付権利を副賞として贈呈する競走です。

※生産牧場が海外の場合は付与対象外となります。

